



参天製薬株式会社
Santen Pharmaceutical Co., Ltd.

環境データブック 2015

2014年度

目次



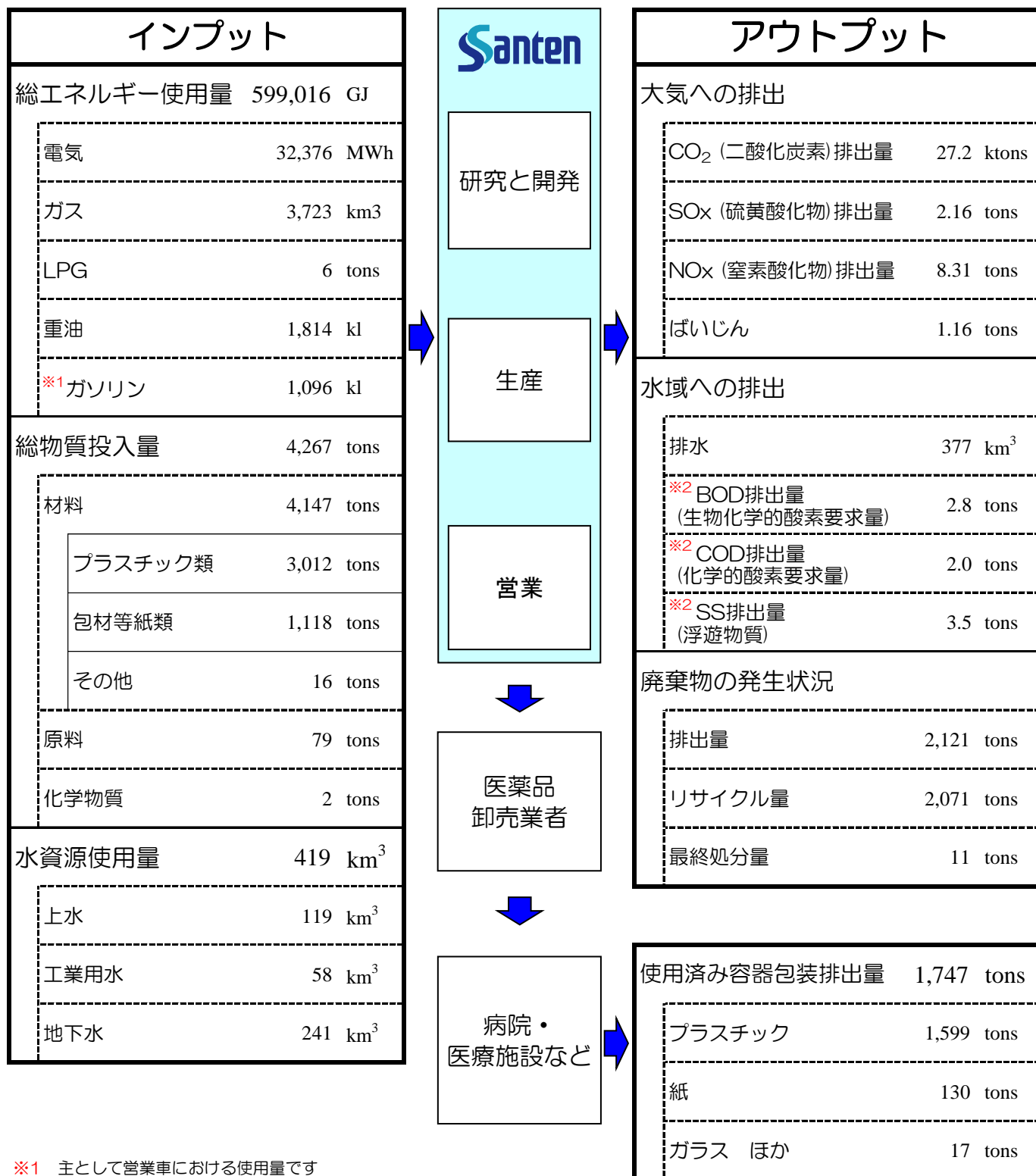
環境負荷の全体像	1
環境会計	2
■ 環境保全コスト	2
■ 環境保全対策に伴う経済効果	2
■ 環境保全効果	3
使用済み容器包装排出量	3
温室効果ガス排出量	4
エネルギー使用量	4
廃棄物排出量・処理量	5
水資源使用量・排水量	5
PRTR法第一種指定化学物質と取扱量	5

対象範囲

国内では、参天製薬グループの全事業場および国内子会社の株式会社クレールを対象としています。
海外においては、サンテン・オイの一部を対象としています。

環境負荷

参天製薬は、事業活動に伴うエネルギー使用量・物質投入量・水資源使用量・大気や水域への排出量・廃棄物の発生状況などについて、環境に及ぼす影響を把握するとともに、環境負荷の低減に向けた取り組みを継続的に実施しています。



※1 主として営業車における使用量です
 ※2 定期測定結果と総排水量を基に排出量を推計しています

環境会計

参天製薬では、より効率的な環境経営の実践をめざすために、参天製薬単体の環境保全の取り組みに関わるコスト（投資額と費用）およびその効果（経済効果と環境保全効果）を把握するとともに環境負荷の低減に努めています。

対象期間：2014年4月1日～2015年3月31日

集計範囲：参天製薬単体の環境保全に関わるコストおよびその効果

集計方法：環境省「環境会計ガイドライン2005年版」を参考にしています

■環境保全コスト

単位：百万円

分類	2013年度		2014年度	
	投資額	費用額	投資額	費用額
事業エリアコスト	72.7	287.9	15.0	256.2
公害防止コスト	2.4	89.1	7.4	91.4
地球環境保全コスト	12.8	116.1	7.6	102.7
資源循環コスト	57.6	82.7	—	62.1
上・下流コスト	—	15.3	—	19.9
管理活動コスト	1.2	93.3	—	120.0
研究開発コスト	—	—	—	—
社会活動コスト	—	0.0	—	0.1
環境損傷コスト	—	—	—	—
合計	73.9	396.5	15.0	396.2

- 目的が明らかに環境保全にかかわるものと判断できる場合のみ計上しています
- 費用額には減価償却費を含めており、財務会計と同一の減価償却方法を採用し計上しています
- 当期の投資については、投資額と費用額の両方に計上しています
- 万の位を四捨五入し表記しているため、合計欄は単純会計と異なります
- 環境管理担当部署の担当者および環境マネジメントシステムの認証維持・運用にかかわる事務局担当者の人件費を管理活動コストに計上しています
- 「—」は取り組みや費用などが発生していないものです

■環境保全対策に伴う経済効果

単位：百万円

分類	2013年度	2014年度
収益	54.6	82.7
費用削減	13.6	15.4

- 確実な根拠に基づいて算出される実質的効果のみを計上しています。

■環境保全効果

分類	単位	年度		環境保全効果	対前期増減率(%)	
		2013	2014			
エネルギー	総エネルギー使用量	GJ	564,792	599,016	34,224	6
	電気	kWh	31,011	32,376	1,365	4
	ガス	km ³	3,423	3,723	300	9
	LPG	tons	6	6	- 0	- 1
	A重油	kℓ	1,710	1,814	104	6
	ガソリン	kℓ	1,121	1,096	- 25	- 2
水資源	総水資源使用量	km ³	405	419	14	4
	上水	km ³	116	119	4	3
	工業用水	km ³	55	58	3	5
	地下水	km ³	234	241	8	3
原料	原料	tons	3,806	4,226	420	11
地球温暖化	CO ₂ (二酸化炭素) 排出量	ktons	25.5	27.2	2	7
大気汚染	SO _x (硫黄酸化物) 排出量	tons	2.1	2.2	0	3
	NO _x (窒素酸化物) 排出量	tons	4.3	8.3	4	94
	ばいじん排出量	tons	0.7	1.2	0	61
水質汚染	総排水量	km ³	352	377	25	7
	BOD 排出量 (生物化学的酸素要求量)	tons	2.5	2.8	0	9
	COD 排出量 (化学的酸素要求量)	tons	1.7	2.0	0	18
	SS 排出量 (浮遊物質)	tons	3.6	3.5	- 0	- 3
廃棄物	排出量	tons	2,008	2,121	113	6
	リサイクル量	tons	1,894	2,071	177	9
	最終処分量	tons	23	11	- 13	- 54

使用済み容器包装排出量

分類	単位	年度		環境保全効果	対前期増減率(%)
		2013	2014		
プラスチック	tons	1,592	1,599	7	0
紙	tons	154	130	- 24	- 16
ガラス ほか	tons	11	17	7	63
合計	tons	1,757	1,747	- 10	- 1

温室効果ガス排出量 (CO₂ 排出量) [tons]

事業場	年度				
	2010	2011	2012	2013	2014
下新庄オフィス (大阪工場)	5,476	4,967	4,510	3,265	4,345
能登工場	11,976	11,829	10,868	9,340	9,761
滋賀プロダクトサプライセンター	4,948	4,708	5,158	5,416	5,431
奈良研究開発センター	5,331	4,778	4,837	4,666	4,331
営業拠点ほか	2,925	2,785	2,709	2,803	3,369
合計	30,656	29,067	28,082	25,491	27,237
	[t-CO ₂ /億円]				
売上高原単位	30.8	28.2	26.3	19.8	19.7

*海外

事業場	年度				
	2010	2011	2012	2013	2014
サンテン・オイ (フィンランド)	1,418	1,158	1,253	1,251	1,148

エネルギー使用量 (熱量) [GJ]

事業場	年度				
	2010	2011	2012	2013	2014
下新庄オフィス (大阪工場)	129,940	117,961	106,892	79,094	100,595
能登工場	234,627	232,515	222,110	204,470	212,605
滋賀プロダクトサプライセンター	116,277	110,679	121,064	127,411	129,066
奈良研究開発センター	124,671	111,585	112,775	109,050	101,513
営業拠点ほか	46,994	44,346	43,193	44,768	55,237
合計	652,509	617,085	606,035	564,792	599,016
	[GJ/億円]				
売上高原単位	656	598	568	439	433

*海外

事業場	年度				
	2010	2011	2012	2013	2014
サンテン・オイ (フィンランド)	67,491	56,804	59,481	57,067	54,805

廃棄物排出量・処理量 [t]

事業場		年度				
		2010	2011	2012	2013	2014
下新庄オフィス（大阪工場）	排出量	323	306	336	296	331
	リサイクル量	257	237	272	241	321
	最終処分量	3.3	3.4	3.1	11.4	2.0
	リサイクル率 [%]	79.7%	77.6%	81.0%	81.6%	97.0%
能登工場	排出量	1,410	1,467	1,484	1,320	1,532
	リサイクル量	1,405	1,455	1,484	1,320	1,532
	最終処分量	0.2	0.6	0.1	0.1	0.1
	リサイクル率 [%]	99.7%	99.2%	100.0%	100.0%	100.0%
滋賀プロダクトサブライセンター	排出量	359	380	378	262	146
	リサイクル量	359	380	378	262	146
	最終処分量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	リサイクル率 [%]	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
奈良研究開発センター	排出量	144	149	146	130	111
	リサイクル量	18	22	8	71	71
	最終処分量	23.4	22.8	29.4	11.9	8.7
	リサイクル率 [%]	12.5%	14.4%	5.2%	54.6%	64.4%
合計	排出量	2,236	2,303	2,344	2,008	2,121
	リサイクル量	2,040	2,094	2,142	1,894	2,071
	最終処分量	26.9	26.8	32.7	23.3	10.7
	リサイクル率 [%]	91.2%	90.9%	91.4%	94.3%	97.7%

水資源使用量・排水量 [km³]

事業場		年度				
		2010	2011	2012	2013	2014
下新庄オフィス（大阪工場）	使用量	80	74	67	44	60
	排水量	55	54	47	44	60
能登工場	使用量	305	324	257	239	247
	排水量	239	225	225	214	225
滋賀プロダクトサブライセンター	使用量	70	69	82	75	71
	排水量	58	60	65	48	52
奈良研究開発センター	使用量	53	49	52	46	41
	排水量	30	31	33	46	41
合計	使用量	508	516	459	405	419
	排水量	382	369	370	352	377

*海外

事業場		年度				
		2010	2011	2012	2013	2014
サンテン・オイ		97	66	70	50	53

PRTR法第一種指定化学物質と取扱量※ [kg]

事業場		年度				
		2010	2011	2012	2013	2014
アセトニトル		1,704	2,071	1,819	1,602	1,407
ぼう素及びその化合物		650	705	636	632	646
キシレン		391	390	256	220	166
ホルムアルデヒド		97	76	314	63	16
クロロホルム		403	430	364	139	12
その他		624	726	521	239	171
合計		3,868	4,398	3,910	2,895	2,418

※各事業場で年間1 kg以上の取り扱いがあった化学物質の取扱量の合計

事業場		年度				
		2010	2011	2012	2013	2014
各事業場で年間1 kg以上の取り扱いがあった物質数		20	19	19	24	19

